



中3 鵜木 俊

1. 発端

それは6月12日、その少し前に遡る。

友「6月12日さ、横須賀で京急とか自衛隊が主催するイベントがあって、はいふりの声優さんが来るんだって。」

私「へえ～。ぜひとも行きたいなあ・・・。」

そして6月12日。

親「ネズミ園のチケット買ったけん行くよ」

私「そんなあああああああああ」

ドナドナドナーという次第である。

2. 東京に一番近い？ほう。

いきなりタイトルを一部否定しかねないがそれはおいといてナローゲージとはそもそも何か、というところから話を始めよう。

鉄道の軌間にはさまざまなものがあるが、一般的に **1435mm 軌間**が「標準軌」とされている。イギリスの炭鉱鉄道において用いられていたのがこの1435mm 軌間で、その後他の炭鉱にも広まり、やがて公共用の鉄道でも使われ始めたというのが標準軌の起源である。この標準軌は、世界のほとんどの鉄道が採用しており、日本では東京メトロ銀座線、丸ノ内線や京急線、新幹線などがこれを採用している。

それよりも狭い軌間を「狭軌」、広い軌間を「広軌」と呼ぶ。

「広軌」は1520mmなどで、ロシアなどで使用されている。

「狭軌」は、日本ではJRの在来線や南海電鉄などが採用している **1067mm 軌間**が有名だ。ナローゲージもこの中に入る。

ナローゲージは何ミリかというズバリ **762mm**で、ナローゲージを直訳すると「狭い軌間」という意味だがなぜこの軌間がナロー(ry と呼ばれるか)という鉄道事業法(当時は地方鉄道法。以下鉄事法)第2条～4条において規定された一番狭い軌間だから、である。(それより狭い軌間は「模型」という扱いになる。)

したがって海外で「ナローゲージ」と言っても762mmを指すとは限らない。類義語として「軽便鉄道」などがある。ナローゲージで有名なのは近鉄四日市線や大井川鉄道井川線

などだが、これらは東京からだと数時間はかかる。

なのでナローゲージは遠いイメージがあったがアベックやリア充共の巣窟で糞高いかつ上がり続ける入場料でパパや苦学生の財布を苦しめる著作権ネズミプロデュースの東京ディズニーランド内のアトラクション「ウエスタンリバー鉄道」が本物のナローゲージだったのだ。



↑標準軌の京急線



↑狭軌のわたらせ渓谷鉄道線



←ナローゲージの大井川鉄道井川線。千頭駅にて。

本物、というのつまり鉄事法その他関連法に基づいて国交省に届出をした「鉄道」である。旅客輸送を目的としないアトラクションではあるがれっきとした鉄道なのだ。

(この「鉄道」であるということが後にさまざまな制約を生む。)

3. ウエスタンリバー鉄道開業

東京ディズニーランドはアメリカのフロリダ州にある「ウォルト・ディズニー・ワールド」などの本家を参考にして作られた。そのため本家のアトラクションのアイデアをそのまま輸入したアトラクションも多い。ウエスタンリバー鉄道もその一つで、本家の「ウォルト・ディズニー・ワールド鉄道」を輸入して作られた。

「ウォルト・ディズニー・ワールド鉄道」ではエリア間を結ぶ輸送手段として営業しており、恐竜トンネル（後述）などのアトラクション性はなかったが日本で同様のアトラクションを開業する際壁となったのが鉄事法である。本家と同じくたくさんの乗客を運ぶ車両を作るとなると車両も大きくなり、必然的に軌間も広がる。

そして鉄事法に抵触するのである。

もともとはディズニーシーの「ディズニーシー・エレクトリック・レールウェイ」と同じように無料で客を運ぶことを想定していたが、一つの路線上に複数の駅を作り客扱いを

すると鉄事法第 16 条に基づき運賃を設定しなければならないのである。

(例：時刻表のピンクのページを見ること。)

つまり、**無料運行ができなくなる。**

入場料ウン千円取った上で移動費まで取るとなると暴動がおこるのは火を見るより明らかである。そして、妥協の末アメリカ河を周遊するアトラクションということで建設する、というところに落ち着いたのである。ルートは、アドベンチャーランドを出発、クリッターカントリーを抜けてアメリカ河の外周を回り、再び戻ってくるというルート。

そして途中に人形等を使ったアトラクションを配置して移動手段ではなくアトラクションということにしたのである。

4. ウェスタンリバー鉄道車両

ウェスタンリバー鉄道で使われている車両は、協三工業製の 1B タイプの機関車で、燃料は石炭・・・ではなく灯油を使う。(石炭を使うと投炭作業が必要になる上、黒煙を吐いてしまうためなどの理由。)

しかし給水作業は必要で、駅の給水塔から機関士が炭水車に給水している。

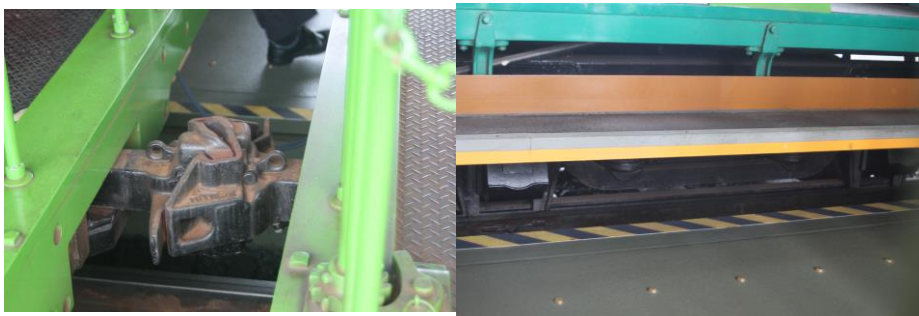


協三工業は、おもに入れ替え用のスイッチャーや遊園地用の小型機関車を製造するメーカーで、コキ 50000 をはじめとした貨車類の製造も行ってた。

ちなみに、アメリカの本家の車両は本物の蒸気機関車を製造するメーカーのボールドウィン・ロコモティブ・ワークス社製である。モデルは 1871 年製の機関車モンテズマ号で、このモンテズマ号を製造したのは本家の車両を製造したボールドウィン・ロコモティブ・ワークスである。



「コロラド」「ミズーリ」「リオ・グランデ」「ミシシッピ」の4機が稼働しており、4機とも警笛の音色や色、排煙時の音が違う。また、増備車の「ミシシッピ」は他の3機とデザインが微妙に違う。



連結器は日立製の自連で、日立のロゴマークが描いてある。客車もまた、協三工業の製造で窓はないトロッコタイプで、本家の客車がドア二箇所クロス、ロングシートなのに対し、こちらはジェットコースターのような客席ごとに入り口があるタイプで、最後尾の車両にはヘッドマークと車掌が乗るデッキが設けられている。

また、車両横に乗降用ステップが設けられており、線路は客席から見えない。
保安設備は無い。

また、最後尾の車掌が操作する車掌弁と、手ブレーキも用意されている。

5. アトラクションとしてのウエスタンリバー鉄道

移動手段として使えなくなったウエスタンリバー鉄道には、アトラクションとしての要素が持たされた。

方式は、多くのアトラクションと同じで、乗り物に乗って沿線に配置された人形等を見ていくスタイルで、乗客が見やすいように列車は時速 10km 程度の低速で走行する。

また、車内のスピーカーから青野武氏（1936～2012。ちびまる子ちゃんの友蔵（おじいちゃん）役やメタルギアソリッドシリーズの大佐役を演じた声優。）のナレーションが流れるようになっている。（初期は村山明氏が演じた。氏はウエスタンリバー鉄道のナレーションは降板したが、地震発生時に流れる緊急放送は氏の声である。）

車窓に見えるのはアメリカ開拓者たちの夢や先住民族（インディアン）達の様子である。もちろん動物も人間も人形なのだが、動いていたりしてとてもリアルである。

また、沿線2箇所には駅があり（スティルウォーター・ジャンクション駅とダスティベンド・ポイント駅）、乗降はできないが風景として楽しむことができる。

そのうちの一つ、スティルウォーター・ジャンクション駅は特に作りこまれており給水塔や駅舎、車掌車があり乗客によく見せるために徐行して通過する。

が実は、これにはもうひとつの目的がある。

駅の手前に踏切と道があるがこの踏切、演出ではなく実際にパレード等で使われる山車を運ぶための通路で、駅で徐行する際駅とは反対側を見ると**アスファルトで舗装された道路が見える。**

つまり**外界である。**

通常、ここにはキャストを輸送するためのバス（青色のバス。舞浜駅前等で見ることができる。）や食材等を輸送するトラックが通るが信号があり、列車が来るときは内側から見えないところで停車する。

ちなみに後者のダスティベンド・ポイント駅はホームと看板があるだけで気づきにくい。（現に私も気づかなかった。）

そして後半には恐竜トンネルがある。

最後にはナレーションでこの鉄道で見聞きしたことは他の客には秘密にして欲しい、と言われる。

つまりこれは・・・壮絶なネタバレ？

おや、こんな時間に来客か・・・おいなにをするんだやめr

6. 最後に

何故こんな文を書いたかというズバリ、他の部員が書かないような文が書きたかったからである。

私には去年の駐車場を落としたという過去がある。舐めてかかっていたのだ。

なので今年は頑張った。

本当はディズニーシーにあるディズニーシー・エレクトリック・レールウェイやディズニーリゾートラインについても書きたかったがページと時間が無かった。

また自分はディズニーファンでは無いので記述に矛盾があるかもしれないのでお許しください。

来年もまた書くと思うのでよろしくお願いします

7. 参考文献

- ・ 実地体験
- ・ Wikipedia (ja.wikipedia.org)
- ・ 法庫 (houko.com)
- ・ 法務省 (law.e-gov.go.jp)
- ・ 東京ディズニーリゾート (tokyodisneyresort.jp)
- ・ 当校図書館にあった本